

いまかね

今金町農業協同組合

平成24年 5月 NO.439

表紙

今金町農業協同組合第44回通常総会



今金町農業協同組合第44回通常総会開催

議長

連載 第6回

NEXT GENERATION

八東西地区 山本 拓人さん 7ページ掲載

組合員の皆様へ

代表理事組合長就任にあたってのご挨拶



代表理事組合長

小田島 親守

組合員の皆様におかれましては春耕期真最中になりご健勝で農作業に精進されていく事と心からお喜び申し上げます。

この度、第44回総会終了後の第4回理事会において代表理事組合長として互選をいただき就任致しました。今はこの責任の重大さを痛感し、本当に身の引きしまる思いを強くしているところであります。

さて、農業を取り巻く情勢は大変厳しいものがあります。特に欧州の金融危機、中東における原油資源関連の騒乱など緊迫した情勢が続いています。国内においては、東北大地震の早期復旧対策、放射能汚染、ガレキ処理対策等山積している中で、TPPへの早期交渉参加を表明する政府に対し強い危機感を覚えます。この事は農業のみならず21分野と多岐に渡る事から各関係機関、団体と連係をとりながら断固阻止に向けた運動をして参ります。

今金町の農業も組合員戸数の減少、高齢化等様々な課題がありますが農家経営、生活の向上を目指し、地域農業の振興に役職員一体となり努めて参ります。更には町内外の各関係機関の皆様にもご理解とご協力をいただきながら精一杯の努力をしていきますので組合員皆様方の尚一層の御支援、御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年も豊穰の年となることと、組合員皆様のご健康をお祈り申し上げます就任のご挨拶と致します。

新役員体制のご紹介

代表理事組合長

小田島 親守

専務理事 内ヶ島 道良

常務理事 船木 実

理事 村瀬 廣

理事 細川 信一

理事 岸 泉

理事 黒須 隆之

理事 仁木 明

理事 山崎 仁

理事 境田 哲哉

代表監事 村本 正義

監事 上野 義則

員外監事 加藤 要

宜しくお願い申し上げます

理事会報告

第1回理事会（平成24年2月24日）

〔報告事項〕

- 1, 農業委員会総会報告について
- 2, 第一委員会の報告について
- 3, 決算監査の実施について
- 4, 生活応援資金につて
- 5, 平成23年度事業決算の報告について

〔議決事項〕

- 議案第1号 第44回通常総会開催日程について
議案第2号 冬期懇談会・要望に対する回答(案)について
議案第3号 平成23年度農畜産物減収に伴う資金対応について
議案第4号 学識経験理事候補者および員外監事候補者の推薦について
議案第5号 職員の海外視察研修に伴う旅費(日当)支給について
- ### 〔協議事項〕
- 1, 合併について

第2回理事会（平成24年2月25日）

〔議決事項〕

- 議案第1号 賦課金の賦課及び徴収方法について
議案第2号 理事者とのクミカン取引額の承認について
議案第3号 理事者のクミカン取引保証債務の承認について
議案第4号 理事者への貯金・共済担保貸付の承認について
議案第5号 役員と組合の取引基準について
議案第6号 信用限度を超える貸付金の承認について
議案第7号 信用限度を超える貸付金の承認について
- 議案第8号 信用限度を超える貸付金の承認について
議案第9号 信用限度を超える貸付金の承認について
議案第10号 信用限度を超える貸付金の承認について
議案第11号 信用限度を超える貸付金の承認について
議案第12号 貸付金条件変更について
議案第13号 理事者の連帯保証債務の承認について
- ### 〔協議事項〕
- 1, 平成24年度事業計画について

第3回理事会（平成24年3月19日）

〔報告事項〕

- 1, 農業委員会総会報告について
- 2, 総会の招待者について
- 3, 総会の進行要領について
- 4, 就業時間の変更について
- 5, 役員候補者推薦会議からの役員候補者推薦届出書の受理報告について

〔監査報告〕

〔議決事項〕

- 議案第1号 決算監査に対する回答(案)について
議案第2号 平成23年度事業決算(案)の承認について
議案第3号 平成24年度事業計画(案)の承認について
議案第4号 総会提出議案等の承認について
議案第5号 理事者のクミカン取引保証債務の承認について
議案第6号 退職職員に対する特別加給金の支給について
- ### 〔協議事項〕
- 1, 平成24年度米の配分並びに産地資金について

第4回理事会（平成24年4月3日）

〔議決事項〕

- 議案第1号 代表理事の選任について
議案第2号 組合長の選任について
議案第3号 専務理事・信用担当常務理事の選任について
議案第4号 理事の職務代理者の順位について

〔報告事項〕

- 1, 代表監事の選任報告について

第5回理事会（平成24年4月4日）

〔報告事項〕

- 1, 農業委員会総会報告について
- 2, 内部審査結果報告について
- 3, ALM委員会の報告について
- 4, ゴールデンウィーク休日業務について
- 5, 監事報酬の配分について

〔議決事項〕

- 議案第1号 農業委員の選任について
議案第2号 檜山北部広域農協連役員の選任について
議案第3号 各委員の選任について
議案第4号 理事報酬の配分について
議案第5号 退任役員に対する役員退職慰労金の支給時期及び支給方法について
議案第6号 常勤理事の事務引き継ぎにおける立会人の指名について
議案第7号 5千万円超の信用供与等の承認について
- 議案第8号 平成24年度における貸付金の利率の最高限度について
議案第9号 一組合員に対する信用供与等の最高限度額について
議案第10号 一組合員以外の者に対する信用供与等の最高限度額について
議案第11号 余裕金の運用の方針及び運用方法について
議案第12号 組合員に対する弔慰金及び見舞金について
議案第13号 平成24年度内部審査の実施計画(案)について
議案第14号 ディスクロージャー誌(H24年度事業)について
- ### 〔協議事項〕
- 1, 第44回通常総会の意見・要望について

今金町農業協同組合第44回通常総会

平成24年4月3日、今金町農業協同組合第44回通常総会が今金町民センターで開かれました。

今総会では、正組合員364名のうち219名（代理人出席、書面議決含む）が出席。末藤春義議長・中野公郎議長の議事進行のもと23年度事業報告、24年度事業計画の設定など第1〜6号までの全議案が承認されました。



◆総会での意見質問と回答①

（問）道南4農協の合併構想について2つ質問があります。

1つ目は、合併協議会の中での現在の進捗状況がどのようなになっているかという事、2つ目は、今金町農協が単独でいく事になった場合の試算がされているかどうかという事についてのお答えをお願いします。

（回答） 昨年の総会で12月を目処に方向性を出したいという話をしておりましたが、道南組合長会で議論し4農協の常務・参事を中心とした会議を4回開催願ひ、その結果報告を受け各農協の理事会において協議をして参りました。当農協としては今年1月開催の農協冬期懇談会に向け合併協議会に参加することで懇談会に望みましたが、席上情報がたりない・単独でいった時はどうなるのか・町行政の支援はどうなるのか等の質問を受けました。

2月開催の道南組合長会議では、理事会での協議未了農協もあり、また今年の通常総会時に3農協が役員改選時期にあたることから、各通常総会終了後において理事会等での協議をうけ議論することとしております。もし仮に参加しない農協がでた場合には、白紙に戻して改めて今後の方向性を話し合う事となります。

また、単独農協としての将来試算については具体的な数字は出していません。組合員からは状況として今がいいから10年後もいいたいとの話も聞きますが、今後の情勢を捉えた構造的な変化にどう対応して行くかが求められます。今議論されているTPP問題等の中で組合員の営農振興をどう位置付けて行くかを捉え、今金町の5500haの農地を担い手などのようにして利用し生産をあげるかの議論を、個人ではなく地域で話し合い体系を考える必要があります。将来における構造的な変化を踏まえながら単独でやっていけるか、組合員とじっくり協議し、あるべき姿を求めていきたいと思っております。

《※回答を受けて》

青年部の一人として将来望むものは、安定した環境の下で農作物を生産出来る社会であって欲しいことと、生計が建てられ家族を養っていきける環境を望んでいます。現段階では合併した場合と単独でいった場合での長い目線での影響を及ぼす範囲がみえません。青年部としてもきちんとした意見を持つていきたいので、昨年と同じになります情報の開示を要望します。

◆総会での意見質問と回答②

(問) 私は10数年程前から任意で地酒の生産・加工・販売活動をしていきます。地域活性化の一つであります地産・地消の流れにおいて地元農産物を生産し、その原材料を利用加工し販売する、そしてそれを物産品として利用し観光で人を呼び込んで地域を活性化していくことが大切な時代だと言われますが、今金町にはそのような組織はないと思います。常々思っています。町行政・農協・商工関係者がタイアップし物産観光を推進する組織作りを願いたい。特に今金町は基幹産業が農業ですから、農協が腰をあげないと組織として前に進んで行かないと思います。答弁として昨年から行われている町行政・農協・商工会の協議の状況と地域を活性化するための組織作りについて前向きな回答をお願いします。

(回答) 自ら率先し町興しに貢献されていることに敬意を表します。言われる組織間の協議については、関係団体が集まって議論をしております。具体的な事柄等は決定していませんので申し上げられません。活性化に向け一緒に活動することとしております。農協として事業費等を要する事は慎重に考えたいと思っておりますが、主体を成す生産者の強調・継続・人作りが大切と思えます。

《※回答を受けて》

前向きな回答ありがとうございました。今金町は組織作り・団体活動に関しては底力があり一つの財産であると思います。また各生産部会が結束して良い物を提供出来ているのも大きな財産だと思っておりますし、こういった力を発揮出来るのが農協組織だと思います。任意の組織では限界があり継続することは困難となりますので、限られた予算と人数で大変だと思えますが、力を発揮して頂きたいことを要望します。

(問) 人事に関し、限られた人員体制で行っているのは理解していますが、特に販売部門の強化を願いたい。生産者にとっては販売価格が直に跳ね返ってきますので要望します。

(回答) 農協の最大の使命は生産者が生産した農畜産物を高く販売する事です。販売については特に力を入れ行っていると思っておりますが、一層努力して参りたく思います。人事について組合員目線からは直接関係する部門の担当は固定して欲しいとの要望があることは承知していますが、職員の年齢構成等も考慮しバランスのとれた体制をとって参りたく思います。

(問) 餌の価格・穀物相場も上がってきていますので、農協として対策をお願いしたい。

(回答) 家畜の販売価格が多少値上がりとなりましたが、それ以上に餌代が高値で推移している状況にあります。農協としては出来るだけ安価での供給と思えますが、国際的に飼料価格が高騰しております。報道等では代替となる商品開発等も研究されているようですが、実用化はまだまだ先となります。今後いろいろな情報を取り寄せる等により安価供給に向け対策を講じたいと思えますが、国際相場等外的要因があり難しいことも理解頂きたいと思えます。



▲ J A 綱領朗唱の様子



● TPPに関する学習会を開催！（道南地区農協青年部檜山北部ブロック連絡協議会）

4月5日北檜山町農協にてTPPに関する学習会が開かれました。中央会職員を講師に招き、JA青年部員がTPPの問題点や現在の進捗状況などについて理解を深めました。

この学習会は、「道南地区農協青年部檜山北部ブロック連絡協議会」の主催で開催。同協議会は今金町農協青年部、北檜山町農協青年部、JA新はこだて青年部若松基幹支店地区青年部の3青年部で構成され檜山北部の農協青年部員同士の連携を高める目的で活動しています。



▲真剣に聞き入る部員たち。活発に質問も出されました。

● TPP交渉参加問題に関する道南地域集会

3月23日、TPP交渉参加問題に関する道南地域集会が函館国際ホテルで開かれ、渡島・桧山管内の農林漁業、自治体、商工、医療、建設など各団体から約300人が参加しました。農業団体としては当町からもJA青年部、女性部、農民連盟等が参加。集会では「政府は国民各層の意見をしっかり聞いた上で幅広く議論を行うべきで、TPP交渉への参加を拙速に判断すべきでない」とした集会宣言が満場一致で採択されました。



● 細川信一 前代表理事組合長 『JAバンク全国功労者表彰』 を受賞

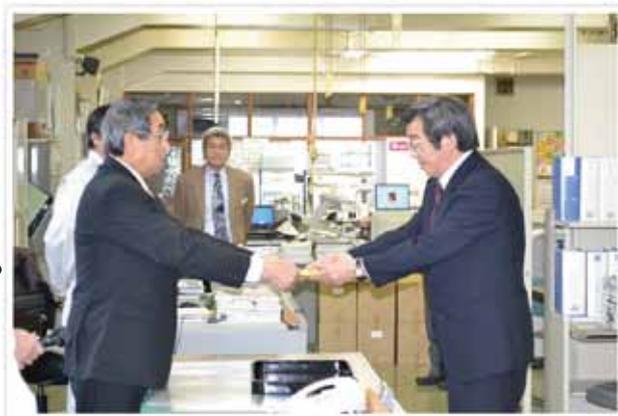
2月16日に開催された第11回JAバンク全国大会において、当組合の細川信一代表理事組合長（当時）が永年にわたりJA信用事業の発展に貢献したとして「JAバンク全国功労者表彰」を受賞しました。

これもひとえに、日頃ご利用頂いている組合員の皆様のおかげと感謝申し上げます。より一層地域に愛されるJAを目指して参りますので今後とも宜しくお願い致します。



組合員の皆様

長い間大変お世話になりました。



・羽土康秀

退職者

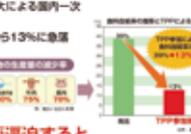
（平成24年3月31日付）

北海道の皆さまに訴えます!!

- 環太平洋連携協定(TPP)は、関税撤廃を原則としているため、北海道の一次産業に大打撃を与え、一次産業を基幹に成り立っている北海道の地域経済・社会の衰退を招きます。
- さらに、TPPの交渉分野は多岐に渡り、医療制度や医薬品、食の安全・安心、公共事業の入札、金融、保険、労働など様々な国内制度に影響を与えます。
- TPPはまさに、「あなたの暮らし」をも変えてしまう問題なのです! 「この国のかたち」について考え、どう対応していくべきか、ともに考えていきましょう。

TPPは あなた自身の問題です

TPP参加で次のことが懸念されます…

<h3>医療制度への影響</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 混合診療の解禁による保険外診療の拡大 → 医療費の増大・医療格差の拡大 ● 営利目的の病院経営認可 → コスト削減重視による医療の質の低下や地方からの撤退  <p>国民が安心して受けられる医療や地域の医療は守られるの?</p>	<h3>地域経済・景気への影響</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 地方の基幹産業である一次産業と関連産業の衰退 → 地方における雇用の喪失と地域経済の縮小 ● 安価な輸入品の急増で国内の価格競争激化 → 賃金や物価の下落  <p>この国の地域社会はどうなってしまうの?</p>	<h3>金融・保険・サービスへの影響</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● ゆうちょ・かんぽ・共済に民間と同じルール適用 ● 水道・通信・電気など生活インフラ事業の規制緩和の恐れ → 海外資本による日本企業・銀行等の買収  <p>国民の資産やインフラも外資のものになってしまうの?</p>
<h3>食の安全・安心への影響</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 残留農薬・食品添加物の規制緩和 ● 遺伝子組み換え食品の規制緩和 ● 半頭産牛肉の月産制限緩和  <p>日本が築き上げてきた食の安全・安心は守られるの?</p>	<h3>食料自給率への影響</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 海外産農産物の輸入拡大による国内一次産業の衰退 → 食料自給率が39%から13%に急落  <p>世界的に食料が逼迫されるとされるなか、私たちの食べ物はどうなるの?</p>	<h3>日本の自然や文化への影響</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 国内一次産業の衰退による農村・漁村・集山の荒廃 ● 農山漁村で育まれてきた、日本固有の美しい景観や日本古来の伝統・文化も消滅の危機に  <p>日本が増えてきた「この国のかたち」はどうなってしまうの?</p>

あなたの生活に関わる問題についてさらに詳しく知りたい方は…

TPP問題を考える道民会議

お問い合わせ先 JA北海道中央会基本政策対策室 Tel: 011-558-0373

《人事異動のご報告》

平成24年4月19日発令

- ▽ 金融部長 (管理課長兼 審査課長) 荒川英也
 - ▽ 金融部長待遇調査役 (金融部長) 一入修
 - ▽ 管理課長兼審査課長 (貯金共済課長) 安齋保
 - ▽ 貯金共済課長 (農業経営課係長) 佐藤信也
 - ▽ 農業経営課長補佐 (同係長) 佐々木秀樹
 - ▽ 酪農畜産課長補佐 (同係長) 加藤直樹
 - ▽ 販売課係長 (同係) 米世隆一
 - ▽ 貯金共済課係長 (同係) 荒井崇御
 - ▽ 生産資材課係長 (同係) 水本和芳
 - ▽ 販売課係長 (同係) 藤田倫史
 - ▽ 融資課係長 (管理課) 工藤耕治
 - ▽ 農業経営課 (生産資材課) 小玉悠嗣
 - ▽ 貯金共済課 (同課嘱託) 工藤美香
 - ▽ 農業経営課 佐藤孝弘
 - ▽ 生産資材課 田淵耕平
- ※ () 内は前職

J A 広報いまかね 439号 平成24年5月1日発行

◇発行 今金町農業協同組合 ◇住所 〒049-4397 北海道瀬棚郡今金町字今金 141 番地

◇電話 0137-82-0211(代表) FAX 0137-82-0641 ◇編集 管理部管理課 ◇印刷 株式会社三誠社